



いつわ清隆 だより 第70号

令和元年11月 発行責任者：五輪 清隆 編集責任者：福田 剛 長崎市水の浦1の1 TEL861-6032



9月5日 多くの皆さんが傍聴する中、一般質問を行いました

4月21日の長崎市議会議員選挙に再選後、早いもので6か月が過ぎましたが皆さま方のご支援・ご協力で諸活動を全力でさせて頂いています。

小中学校にエアコンが設置されました

昨年、8月10日に長崎市議会議員選挙として市内の小中学校にエアコンの設置を申し入れました。

その結果、今年8月末までに全小中学校の普通教室(小学校38校・中学校60校)に設置されました。本当に短い期間で設置できて良かったです。

今後とも、長崎市の発展のため、市政の活性化を目指し、市民の代表としての職務を精一杯果たしていきたいと考えていますので、皆さま方の旧に倍するご支援・ご協力・ご指導を賜りますよう、よろしくお願致します。

市政の活性化に努めます

私も若い人材の他都市への流出に歯止めをかけなければならぬと思います。その為にも①子育て支援 ②地元企業への支援 ③新しい産業の育成を早急に取組まなければなりません。即効性が出る抜本的な対策はありませんが、「このままでは地域が疲弊することが予想されるので、どこまで歯止めをかけられるのか」と問われていると思います。

また、高齢者対策も充実させなければなりません。

人口減少対策に待ったなし

長崎市の最大の重要課題は人口減少対策だと認識しています。現在、長崎市は人口減少の克服と長崎創生の実現に向けて「まち・ひと・しごと創生総合戦略」が取り組まれていますが本年度で終了します。その後第2期総合戦略を策定し、人口減少に歯止めをかけるために、「働く」「住む」「楽しむ」「挑戦」成長する」という観点からの取り組みで、若い世代に選ばれるまち、更に若い世代から「長崎に残りたい」「帰りたい」「任んでみたい」と思われるようなまちをめざし、まちづくりを進める方針が出されています。

一般質問を行いました

私は、9月5日に本会議で多くの支援者の皆さんが傍聴する中で一般質問を行いました。平成29年11月議会以来で緊張感を持って市長・関係理事者の皆さんと質疑を行いました。(質疑内容の抜粋を2・3ページに記載しています。)

令和元年9月議会

一般会計補正予算(総額10億6,400万円) 29議案を可決!

長崎市議会・令和元年9月定例会は、9月2日(月)から9月20日(金)までの19日間の日程で開催されました。一般会計補正予算案は、総額10億6,400万円、条例案など29議案が可決・同意されました。

条例案では、MICE施設の名称を「出島メッセ長崎」と確認後、利用料金の上限額となる「基準額」は、一部反対意見が出されましたが賛成多数で可決されました。

主な補正予算の内容

- ◆障害者福祉施設整備事業費補助金
 - ：8億6,524万4千円
- ◆障害者支援施設
 - ：5億2,692万円
- ◆障害者支援施設の建て替えに係る施設整備に対して助成するもの。
 - ・対象施設 1施設(田中町) 定員 障害者支援施設 80人
 - 短期入所 6人
- ◆就労継続支援事業所
 - ：2億7,483万4千円
- ◆就労継続支援事業所の建て替えに係る施設整備に対して助成するもの。
 - ・対象施設 3施設
 - 小江町 定員60人
 - 深堀2丁目 定員20人
 - 田中町 定員20人
- ◆共同生活援助事業所
 - ：6,349万円
- ◆共同生活援助事業所(短期入所事業所併設)の創設に係る施設整備に対して助成するもの。
 - ・対象施設 2施設
 - 古賀町 共同生活援助 7人
 - 短期入所 2人
 - 畷刈町 共同生活援助 4人
 - 短期入所 1人
- ◆子育て支援環境整備費
 - ：387万8千円
- ◆幼児教育・保育無償化に伴い子育てのための施設等利用に係る給付費の支給事務に要する経費を増額するもの。
 - ◆長崎歴史文化博物館特別企画展負担金：1,000万円
 - キリシタン潜伏の歴史や、キリシタン関連遺品等について広く周知を図るため、ローマ法王の来崎が期待されている時期に合わせ、長崎歴史文化博物館において展覧会を開催する経費の一部を負担するもの。
 - ・開催時期 令和元年11月9日～12月7日
- ◆小学校整備事業費(西町小学校舎等改築)：1,120万円
 - 校舎が老朽化している西町小学校について、改築に向けた調査等を実施するもの。
 - ・土質調査、登記測量
- ◆公民館施設整備事業費(地区公民館)：8,140万円
 - 老朽化している蚊焼地区公民館の移転先として、隣接する旧蚊焼保育所を改修する経費を増額するもの。

るもの。

- ・対象施設 2施設
- 古賀町 共同生活援助 7人
- 短期入所 2人
- 畷刈町 共同生活援助 4人
- 短期入所 1人

◆子育て支援環境整備費

：387万8千円

◆幼児教育・保育無償化に伴い子育てのための施設等利用に係る給付費の支給事務に要する経費を増額するもの。

◆長崎歴史文化博物館特別企画展負担金：1,000万円

キリシタン潜伏の歴史や、キリシタン関連遺品等について広く周知を図るため、ローマ法王の来崎が期待されている時期に合わせ、長崎歴史文化博物館において展覧会を開催する経費の一部を負担するもの。

・開催時期 令和元年11月9日～12月7日

◆小学校整備事業費(西町小学校舎等改築)：1,120万円

校舎が老朽化している西町小学校について、改築に向けた調査等を実施するもの。

・土質調査、登記測量

◆公民館施設整備事業費(地区公民館)：8,140万円

老朽化している蚊焼地区公民館の移転先として、隣接する旧蚊焼保育所を改修する経費を増額するもの。

いつわ清隆 7~9月 活動のあゆみ



8月25日 とつとつ祭り



8月8日 KAKKIN「長崎平和地方集会」



7月27日 長崎ペーロン選手権「開会式」

ご相談はお気軽に!

k.itsuwa

長崎市の都1丁目1444-13
自 宅 8449599
生活相談室 8611985



9月12日 スコットランド歓迎レセプション



9月8日 北部ブロック大型行事

9月5日 一般質問を行う!

1. 市長の政治姿勢について
2. 小中学校の統廃合後の利活用について
3. 新ICカードについて
4. 都市計画道路大黒町・恵比須町線の拡幅整備の進捗について
5. 長崎市野母崎振興公社の運営について

主な質疑内容

1. 市長の政治姿勢について

(1)人口減少対策

質問 長崎市の人口は、平成10年は約43万人、周辺7町と合併した平成18年は約45万2千人で、直近の平成30年は約41万6千人で12年間では3万6千人減少し、1年間で3,000人減少しているが、①人口減少の最大の要因 ②人口が減少することによる長崎市の財源への影響。

答弁 長崎市の人口減少は少子化と10代後半から20代までの若年層の進学・就職・転職による転出超過が主な要因ですが、過去5年間の日本人の社会動態においては、転出者数は転入者より毎年1,200人ほど減少しており、特に20代から30代の子育て世代を中心に転入が減少しています。

人口減少による財源の影響は、個人市民税で1人あたり約4万8千円減、地方交付税は約7万7千円減で個人市民税と地方交付税合計で約12万5千円となる

り、仮に納税義務者が1,000人減少したとすると、年間で約1億2千5百万円減の影響が考えられます。

質問 県は跡地の埋蔵文化財の確認調査を解体後の今年10月から3か月間の予定で、遺跡の範囲や内容を確認後、開発前に本格的な発掘が必要かを判断するための調査に着手すると報道されているが、ホールの完成時期が更に遅れると想定されるが、市庁舎跡地より完成時期が遅れても県庁舎跡地に整備するのか。

答弁 県庁舎跡地で整備した場合の時間的な優位性は、当初の想定より小さくなっているが、現時点で現市庁舎跡地での整備と比べて早期に完成できると見込んでいます。

質問 県庁舎跡地にホールを整備する費用はいくらと試算しているのか。

答弁 整備費用は、過去にホールの座席数が1,000席程度で旧公会堂と同程度の機能を有する他都市のホール等を参考に見込んだ時に38億2千万円で今後、基本計画を策定する中でホール機能や施設等の詳細を検討することになりますので、この中で具体的な整備費用を示します。

2. 小中学校の統廃合後の利活用



旧高城台小学校現川分校は地元自治会へ貸し出し

質問 長崎市は少子化に伴い、小中学校の学校規模の適正化と適正配置として、小中学校の統廃合を行っているが、利活用の基本方針について。

答弁 施設の未利用資産は行政機能や都市機能の確保と行政目的での活用を検討しますが、活用見込みがない場合は売却を基本とした有効活用を検討します。

学校跡地は、敷地面積が広いことから行政目的の活用が難しい

◆ 長崎市の人口の推移 ◆

年次	人口 各年10.1現在	人口動態						
		自然動態			社会動態			
		出生	死亡	増減	転入	転出	増減	
平成18年	451,738	3,460	4,358	-898	15,842	18,031	-2,189	-3,087
平成19年	448,831	3,371	4,547	-1,176	15,925	17,609	-1,684	-2,860
平成20年	445,822	3,394	4,550	-1,156	15,362	16,991	-1,629	-2,785
平成21年	444,117	3,396	4,535	-1,166	15,375	16,056	-681	-1,847
平成22年	443,766	3,366	4,797	-1,431	14,318	15,560	-1,242	-2,673
平成23年	441,199	3,259	4,861	-1,602	14,322	15,082	-760	-2,362
平成24年	439,016	3,329	4,878	-1,549	13,966	15,056	-1,090	-2,639
平成25年	436,029	3,302	5,025	-1,723	14,175	15,016	-841	-2,564
平成26年	433,514	3,289	4,987	-1,698	13,971	15,015	-1,044	-2,742
平成27年	429,508	3,188	4,833	-1,645	15,908	15,314	594	-1,051
平成28年	426,578	3,189	5,170	-1,981	14,919	16,375	-1,456	-3,437
平成29年	421,612	3,140	5,229	-2,089	13,613	16,981	-3,368	-5,457
平成30年	416,419	2,999	5,167	-2,168	13,150	15,814	-2,664	-4,832

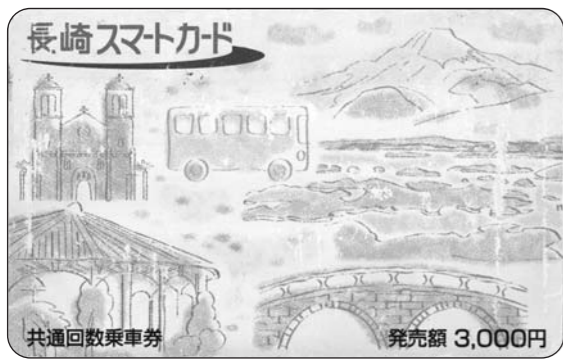
3. 新ICカード

質問 長崎市内の交通事業者が導入しています長崎スマートカードはカード1枚で事業者が違うバスや電車を利用する時に使

用できるが、長崎バスは今年9月16日から「エヌスタスタカード」、県営バスと長崎電気軌道は来年3月頃から「モカカード」に移行される予定ですが市民への周知はどのように行っているのか。

答弁 周知は各交通事業者で「エヌスタスタカード」は、テレビCM、車内アナウンスや車体に広告を施したラッピングバスによって行っています。

「モカカード」は、ホームページや車内に施したラッピングバスの運行により周知しています。



廃止になる「長崎スマートカード」

再質問 公共交通機関は市民の足であり、市は市民の方々へ周知を図るために「広報ながさき」「自治会回覧」を行ったらどうか。

答弁 市として「広報ながさき」「自治会回覧」等で市民の方々に周知を行います。

質問 障害者・高齢者交通費助成対象者への対応

質問 交通費助成制度は、障害者や高齢者が積極的に外出するきっかけづくり、社会活動への参加を促進することを目的として、障害者や70歳以上の高齢者を対象に、年間5000円相当を市の独自の事業として、バス・電車・タクシー等の交通利用券を交付しています。

障害者には、平成24年度からスマートカードへの積み増しを行っていますが、新ICカードに移行されることによる影響はどうか。

答弁 交通費を助成するためのカードとして、助成対象者にいづれかのカードを選択していただくことを想定しています。

4. 都市計画道路大黒町・恵美須町線の拡幅整備の進捗

質問 都市計画道路は、長崎駅周辺の交通混雑の解消策として旭大橋交差点(まるみつパチ

5. 長崎市野母崎振興公社の運営

質問 長崎市は、野母崎炭酸温泉アレガ軍艦島の施設を経営悪化により、民間へ売却する予定であるが、野母崎振興公社は運営・経営にどのように関わり現状を把握しているのか。

答弁 振興公社から毎月の実績報告提出や年1回の指定管理モニタリング等により、施設管理や利用状況などを把握してまいりました。

質問 野母崎振興公社には、長崎市は平成27年2月議会において、公社の純資産額が2期連続して300万円未満となる恐



民間に売却予定の「アレガ軍艦島の施設」

れがあり公社の解散の危機として、1億2千万円の金銭債権の放棄をしています。更に、アレガ軍艦島の施設に平成26年度には約1億円かけて温泉井戸の掘削工事も行っていますが、平成27年度以降に施設改修等に使用した費用について。

答弁 施設改修費用は、平成27年度は4,374万円、28年度は8,417万円、29年度は4,223万円、30年度は4,548万円平成27年度以降の改修費は合計で約2億1,562万円です。